

平成 29 年 8 月 9 日

各 位

会 社 名 株式会社システム情報
代 表 者 名 代表取締役社長 鈴木 隆 司
(コード番号:3677 東証 J A S D A Q)
問 合 せ 先 経営管理部長 山 本 正
(TEL. 03-5547-5705)

業績予想および配当予想の修正（増配）に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成 29 年 4 月 14 日に公表しました平成 29 年 9 月期通期の連結業績予想および平成 29 年 4 月 21 日に公表しました配当予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

平成 29 年 9 月期 通期連結業績予想数値の修正（平成 28 年 10 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	7,600	740	740	510	86.48
今回修正予想 (B)	8,000	750	750	520	(注) 44.08 (88.16)
増減額 (B - A)	400	10	10	10	
増減率 (%)	5.3%	1.4%	1.4%	2.0%	
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 9 月期)	6,556	588	591	416	70.96

(注) 当社は、平成29年6月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。

今回修正予想の1株当たり当期純利益は、株式分割の影響を考慮して記載しております。なお、括弧書きにて当該株式分割前の基準による1株当たり当期純利益を記載しております。

(修正の理由)

売上高につきましては、金融・保険向けのシステム開発の新規受注を含め引き続き順調に推移していることに加え、連結対象子会社が着実に業容を拡大していることから予想を上回る見込みであります。

利益につきましては、当社独自のシステム開発標準 (SICP) に基づくプロジェクト管理の更なる徹底により採算性が向上している一方、第3 四半期会計期間から連結対象となった株式会社シンクスクエアの利益がのれん償却額と相殺されること、新規ソリューションビジネス向け研究開発費や中途採用増強に伴う採用費の増加が見込まれること等から、予想を若干上回る見込みであります。

以上のことから、平成 29 年 4 月 14 日に修正した平成 29 年 9 月期の通期連結業績予想を再修正することといたしました。

2. 配当予想の修正

平成 29 年 9 月期（平成 28 年 10 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日）期末配当予想

基準日	1 株当たり配当金		
	第 2 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想	0.00	13.00	13.00
今回修正予想（注 1）	0.00	14.00	14.00
（株式分割前予想）	(0.00)	(28.00)	(28.00)
当期実績	0.00	—	—
前期実績（注 2） （平成 28 年 9 月期）	0.00	22.00	22.00

（注）1. 当社は、平成29年6月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。

今回修正予想の1株当たり配当金は、株式分割の影響を考慮して記載しております。なお、括弧書きにて当該株式分割前の基準による1株当たり配当金を記載しております。

2. 前期実績（平成 28 年 9 月期）につきましては、株式分割前の配当金額を記載しております。

（修正の理由）

当社は、株主に対する利益還元を経営の重要課題の一つと位置づけており、将来の事業展開と財務体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、配当性向 30%を目安に株主への安定的かつ継続的な配当を実施していくことを配当政策の基本方針としております。

上記の基本方針に基づき、この度の業績予想の修正において当期純利益を修正するに当たり、前回は1株当たり 13 円としておりました配当予想を 14 円へと修正いたしました。

当社は平成29年6月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っており、当該株式分割前の基準による配当金は1株当たり28円となることから、前期実績の1株当たり配当金22円と比較して実質1株当たり6円の増配となります。

なお、期末配当につきましては、本年 12 月開催予定の株主総会に付議させていただく予定です。

※ 上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上